

羅針盤



社会科部 情報活用委員会

持続可能な社会の担い手を育てる社会科の役割

社会科部長 田中 俊二

今、国際情勢をはじめ、社会は混沌として不透明であり、様々な課題が山積しています。地球規模で考えなくてはならないことや、答えがなかなか見つからないことなどに直面し、その解決を図ることは非常に難しい状況であると言わざるを得ません。そんな中、これからの未来を生きる子どもたちには、持続可能な社会の担い手としてふさわしい資質能力を育成することが求められます。その役割を大きく担っているのが社会科であると思います。

今年度の研究主題は、「社会に参画していこうとする子どもの育成をめざし、仲間とかかわりながら問題の解決を図る社会科の授業」です。社会科の究極の目的は、公民的資質の基礎を養うことです。事実を見極め、多面的に物事をとらえ、確かな社会認識をもとに的確に判断する力を育てることが大切です。そして、一人一人が社会の担い手としての主権者意識を高めることが求められます。

そのためには、確かな社会科の授業実践を地道に積み上げていくことが必要です。対象にじっくりかかわって、思いが高まっているときの子どもの姿は、とても魅力的です。それは、子どもが学び喜びや価値を感じて思考が深まり、内面が高まっているからであり、夢中になって自分らしさを表出しているからです。そういう中にこそ、子どもの内面の成長があります。この内面の成長が、社会に参画していこうとする姿や、自分が社会の担い手であるという自覚につながっていくのではないかと思います。

そんな子どもの姿は、魅力ある確かな授業実践において見られます。授業のポイントは、まずは社会科の目指すねらいにあったものであることが前提です。教材そのものに魅力や学ぶ大きな価値がある、そんな教材を足で稼いで発掘すること、そして、その教材をどう出会わせ、どう子どもの思いや追究を支えて思考を深めさせるのかを見通し、手立てを講じていくことが必要です。子どもの生活に根ざしたものの、繰り返しかかわれるもの、追究していくと課題の奥の深さを実感してその解決に向けて心を湧き立たせるものなどは、魅力ある教材の要素といえます。教材の出会い方も、内容によって、驚きや興味・関心、疑問などインパクトを与えられるものもあれば、じわじわ意識を掘り起こす必要があるものもあります。実践を進めるにあたっては、一人一人の思いやこだわりを見取り、対話や朱書き、かかわり合い、振り返りの場などを通して、学びを支えていくことが大切です。今年度も、確かな魅力ある授業実践を目指して、地道に取り組んでいきたいものです。

また、今年度の社会科部の活動については、基礎研修委員会、授業研究委員会（小・中）、研究作品委員会、情報活用委員会の4つの活動を中心に進めていきます。その他、自主研修会「セーリング」、立体地図、三河教育研究会、郷土読本編集委員会、おかざき映像教材研究会などがあります。今年度の社会科部の活動が盛り多いものとなるよう、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ちよつと寄り道

～蓮如上人伝説『蛇骨物語』～（福岡小学区）

福岡町には、次のような伝説が残されています。

～昔、御堂山の下の深い溝に、大蛇がすんでいて、人々を怖がらせていた。この地で布教活動をしていた蓮如上人は、この大蛇に向かって、「その姿では醜い」と言いながら、着ていた衣の袖を破って、大蛇の頭にかぶせて念仏を唱えた。すると、大蛇は両目から涙を流して、水底深く沈んでいった。その後、美しい一人の夫人が、蓮如上人のところへ来て、「私は、この土地の岩ヶ崎弾正の妻です。夫への嫉妬心が強かったため大蛇になってしまいました。上人のお力で蛇身を脱ぐことができました。」と言って姿を消した。

翌朝、池の中から大蛇が現れ、池の岩に横たわったかと思うと見る見るうちに昇天したという。（出典：『土呂の文化財めぐり（改訂版）』～

そのときの大蛇の頭とされる長さ1mはあるかと思われる骨が、福岡町の御堂山教会の本堂に安置されています。4月に行われる「蓮如祭り」の際には、その「蛇骨」を見ることができます。（福岡小 原田 康司）



三教研夏季研修会情報

1 テーマ

「社会に参画していこうとする子どもの育成をめざし、
仲間とかかわりながら問題の解決を図る社会科の授業」(4年次)

2 期日 平成28年8月5日(金) 12:50~16:30

3 会場 蒲郡市民会館

※ 詳細は、先日配付しました案内をご覧ください。

※ 本年度、岡崎市社会科部の代表として、岡本昌也先生(矢作北中)と丸尾健太先生(三島小)が実践を報告されます。多くの先生方のご参加をよろしくお願いいたします。

(三教研担当 羽根小 長谷川威全 翔南中 中根 良輔)

平成28年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】情報

今年度の「授業力アップセミナー【基礎編】」は、以下のような内容・日程で計画しています。

① 日 時 平成28年8月8日(月) 9:00~15:30

② 場 所 集合:総合学習センター 教育研究室1

③ 研修内容 研修1…見学実習

「矢作地区のフィールドワーク」

和志取神社 和志山古墳 荒神社

〈講師〉岡崎むかし館主任専門員 野本欽也先生

研修2…講義

「地域素材の教材化 ~フィールドワークを振り返って~」

〈講師〉岡崎むかし館主任専門員 野本欽也先生

研修3…協議

「地形図を使って地域を調べる」

※ 昼食は各自でお願いします。「研修1」終了後、総合学習センターへ戻ります。

※ 研修1の見学実習で矢作地区に移動する際はバスを使用します。そのため、当日、交通費(バス代)を徴収させていただきます。ただし、このお金は、後日、旅費として支給されます。また、「一日保険」に加入していただきますので、当日保険料を実費負担していただきます。ご了解ください。



平成28年度社会科部の組織

部長	田中 俊二(大樹寺小) 松浦 良昭(城南小) 杉田 吉男(六ツ美中)		
指導員	加藤 環(城北中) 山崎 彰伯(藤川小)		
世話係	長谷川威全(羽根小) 高瀬 透(北野小) 木村 充隆(矢西小) 原田 康司(福岡小) 中根 良輔(翔南中) 佐々木幸美(竜南中) 内藤 恵三(竜海中) 加藤さなえ(南中)		
委員長	基礎研修	委員長 原田 康成(男川小)	副委員長 権田 康成(福岡中)
	授業研究(小)	委員長 尾山 和昭(矢南小)	副委員長 三浦 良見(美合小)
	授業研究(中)	委員長 小久江友見(葵 中)	副委員長 倉田 舞(北 中)
	研究作品	委員長 平川 誠(大樹寺小)	副委員長 加藤 周司(矢東小)
	情報活用	委員長 實松 勇太(大門小)	副委員長 森 綾子(下山小)

平成28年度社会科部新任紹介

松浦圭祐(根石小) 浅川浩美(美合小) 柴田拓磨(緑丘小) 尾藤仁美(藤川小) 石谷遼一(生平小)
杉浦功宜(細川小) 櫻井悠人(岩津小) 長島亮輔(矢作東小) 中本智裕(矢作北小) 畔柳圭祐(六ツ美北小)
石原玖美(城南小) 青山当知(北中) ~新しい12名の先生方の今後の活躍に期待しています!!~

H28 夏休み社会科自由研究についてのお知らせ

「夏休み子ども体験講座・夏休み社会科自由研究相談会」について

- 期 日 7月24日(日) 25日(月)
- 時 間 ① 10:00~11:30 ② 14:30~16:00
- 場 所 岡崎むかし館 (りぶら1階)
- 講 師 野本 欽也 先生 (岡崎むかし館主任専門員)
- その他
 - ・参加希望者は、上記の時間帯に、岡崎むかし館に来てください。
 - ・事前の申し込みなどの必要はありません。



夏休み 社会科研究作品づくり について

- 作品の内容
 - ・社会科学習 または 社会科の発展学習
 - ・おかげ学習(岡崎の心の醸成につながる郷土学習)に関するもの
- 作品の体裁
 - ・模造紙1枚半以内(学校で配付された用紙の利用も可)別添資料として、ノート、ファイル、スケッチブックなど。
 - ・ノートやルーズリーフ等のみでもよい。
- 作品の書き方
 - ・学校で配付される模造紙、ノートの書き方見本を参考にする。
 - ・「研究テーマ」「学校名」「学年」「名前」を必ず記入する。

ルーズリーフの場合は、パンダ等に必ず綴じて、表紙を付けましょう。

こんな研究作品づくりを目指そう

- ①だれも取り組んでいないテーマを選ぶ。
- ②自分の足を使って調べ、自分の目で確かめる。
- ③ねばり強く調べ、たくさんの資料を集める。
- ④学区や岡崎市に関係することを調べる。
- ⑤調べたことを比べたり関係づけたりしてまとめる。
- ⑥調べたこと確かさをもとに自分の考えをまとめる。
- ⑦世の中の課題や今後の社会のあり方について、自分なりの考えをまとめる。
- ⑧自分の強い思いや願いを表す。



昨年度の優秀作品の研究テーマ

小学校

- 「今もつづく戦国時代!？」
- 「今とむかしの子育て」
- 「ぼくの住む十王町の由来」
- 「歴史から作る岡崎ハザードマップ」

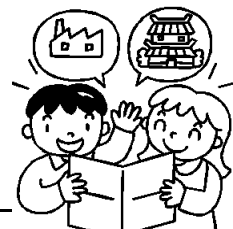
中学校

- 「岡崎が起点!!一塩の道」

※研究を通して、「今」そして「これから」を見通すという視点を大切に、取り組もう。
※各学校にある「社会科研究作品展・発表会」の冊子の内容を参考にしよう。

「社会科研究作品展」「社会科研究作品発表会」について

- 展示期間 10月1日(土) 10:00 ~ 10月11日(火) 17:00
- 展示場所 りぶら2階ギャラリー
 - ・岡崎市小中学校児童生徒の研究作品を展示します。
 - ・展示された作品には、賞状を授与します。
- 作品発表 10月8日(土) 10:00~11:30
- 発表場所 りぶら1階 103会議室(岡崎むかし館となり)



「おかざき学習」実践報告

本年度の1学期も、市内の各中学校で「おかざき学習」の実践が行われました。「指導の手引き」の内容に工夫を加え、意欲的に実践に取り組んだ学校もあります。

ここでは、そうした独自の取組が行われた2校の実践を紹介します。

【岩津中学校】<1年生>「岡崎の歴史のとびらを開いてみよう」の実践

生徒たちは、石田茂作や志賀重昂にあまりなじみがなかったため、次のような資料を提示して実践した。

- ① 石田茂作 ⇒ 道徳の教材を使ってエピソードを紹介した。
- ② 志賀重昂 ⇒ 音楽の教員にCDを借り、「三河男児の歌」を紹介した。
- ③ Google Earth を使って、偉人に関する史跡を紹介した。

岡崎の心の醸成の取組に基づいて、他の教科・領域でも偉人に関する資料があり、参考になった。これらもうまく活用できれば、より子供に興味をもたせられるのではないか。

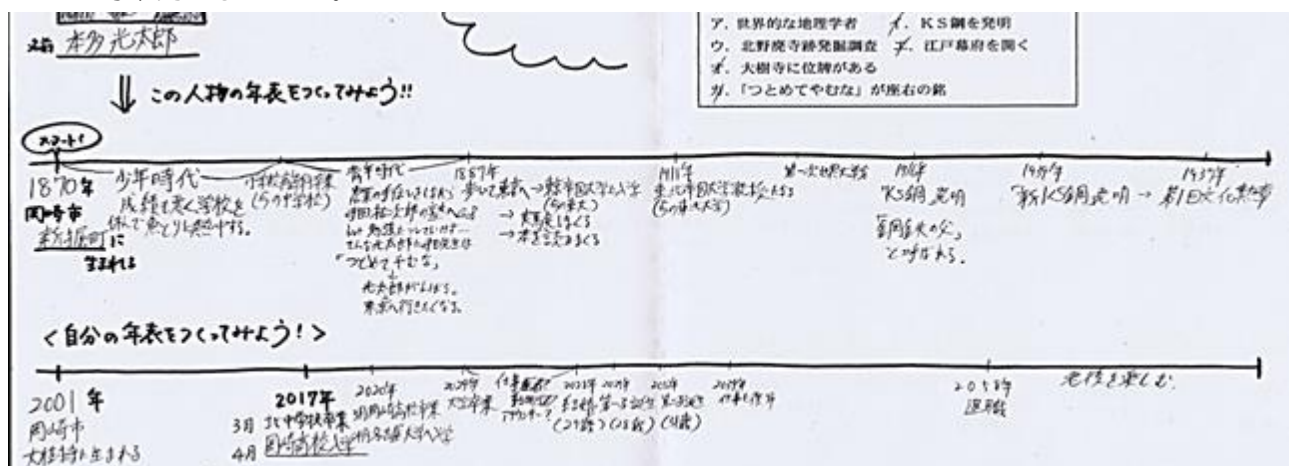
生徒の感想

- ◇ 徳川家康のことについては、小学校の時に詳しく調べたけど、明治以降にもたくさんの偉人がいたことを知った。Google のストリートビューで見た石田茂作さんの生家と廃瓦塔のある場所が、自分の祖父母の家の近くだったので、今度ぜひ立ち寄ってみたいと思う。
- ◇ 4人の偉人はどの人も努力しているけど、僕は本多光太郎さんがもっとも努力していると思った。きっとKS鋼ができるまでにもたくさんの失敗を繰り返して、それでもあきらめず強力な磁石を作ったんだと、『岡崎』で調べていて思った。僕も努力を続けられるように頑張りたい。

(杉山 彩)

【北中学校】<3年生>「岡崎の偉人はどんな人生を歩んだのだろう」の実践

岡崎の偉人（徳川家康、本多光太郎、志賀重昂、石田茂作）の中から一人の偉人について調べ学習を行った。今回は、それぞれの偉人が何歳のときに、何を成したのかを時系列にしてまとめるという学習活動を取り入れた。その後、自分のこれまでの人生とこれからの未来について考え、同じように時系列にまとめた。



子供のときや若いうちから偉人たちが志をもって人生を歩んでいたことに気付かせ、これから進路選択をひかえる生徒たちに刺激を与え、自分なりの志をもてるようにしたいと考えた。生徒たちは、自分が具体的な未来をまだ考えられないことに気づき、まずは自分と向き合い、努力していかなければならないということが分かったようだった。

(倉田 舞)